



水田 恒一 議員

防災最前線の消防団を
どう守るか

問

東日本大震災時の消防団の活躍と尊い犠牲から学び、消防団の労苦に報い、来たるべき大災害に備え、日々精進する消防団員の生命を守ろう。

答 総務部長

安全対策として、全消防団員に踏み抜き防止鋼板入りのゴム長靴を支給している。

公務災害補償は、消防職員は給与基礎額で算出し、消防団員は階級と勤

トイレ、洋式トイレの増加、温水シャワーを。

②福祉避難所に備蓄を。

③庁舎での総合防災訓練

答 教育委員会事務局長

①基本設計では、教室棟と屋内運動場及びプールの間は、車椅子で移動できる構造としている。

トイレは1階に、多目的トイレ1カ所、男子ト

イレは洋式・和式が各1、女子トイレは洋式2、和

式3の計画である。プールには、男子トイレが洋

式1、女子トイレが洋式

1、和式2の計画である。

温水シャワーは職員用と

して1カ所設けている。

②特別養護老人ホーム4

カ所、老人保健施設1カ

所と福祉避難所の協定を

締結している。

備蓄食料は4施設は概

ね3日分、1施設は1日

分、飲料水は4施設で概

ね3日分程度備蓄してい

るが、1施設は保存設備

の建設を検討中である。

紙おむつなどは、概ね

3日分が備蓄されている。

③消防法等で年1回以上、実施が義務づけられているが、近年実施していない。11月をめどに訓練を実施する予定である。

訓練内容は、火災を中心としたものから、地震時における建物の損壊や事務所内什器の転倒等による被害防止、来庁者の救出や電子データの保護を含めた総合的訓練を計画している。

答 総務部長

敗戦後66年、戦争体験者(軍人、民間被害者)も少なくなり、諸所の資料も散逸しつつある。記録や資料の収集保存を通して、平和の尊さを子孫

に伝え、平和の大切さを訴える場の設置を。

二度と不幸な歴史を繰り返すことのないよう、過去の悲惨な記録を長く後世に伝えていく必要を強く感じている。資料の散失を防ぐためにも写真、手紙等の収集を行い、旧校舎の空き教室などを活用して、平和記念資料の展示について関係機関と協議していきたい。

②特別養護老人ホーム4カ所、老人保健施設1カ所と福祉避難所の協定を締結している。

備蓄食料は4施設は概ね3日分、1施設は1日分、飲料水は4施設で概ね3日分程度備蓄している。

③消防法等で年1回以上、実施が義務づけられているが、近年実施していない。11月をめどに訓練を実施する予定である。

訓練内容は、火災を中心としたものから、地震時における建物の損壊や事務所内什器の転倒等による被害防止、来庁者の救出や電子データの保護を含めた総合的訓練を計画している。

敗戦後66年、戦争体験者(軍人、民間被害者)も少なくなり、諸所の資料も散逸しつつある。記録や資料の収集保存を通して、平和の尊さを子孫

に伝え、平和の大切さを訴える場の設置を。

二度と不幸な歴史を繰り返すことのないよう、過去の悲惨な記録を長く後世に伝えていく必要を強く感じている。資料の散失を防ぐためにも写真、手紙等の収集を行い、旧校舎の空き教室などを活用して、平和記念資料の展示について関係機関と協議していきたい。

答 中村市長

二度と不幸な歴史を繰り返すことのないよう、過去の悲惨な記録を長く後世に伝えていく必要を強く感じている。資料の散失を防ぐためにも写真、手紙等の収集を行い、旧校舎の空き教室などを活用して、平和記念資料の展示について関係機関と協議していきたい。

平和祈念資料館(室)の設置

問

敗戦後66年、戦争体験者(軍人、民間被害者)も少なくなり、諸所の資料も散逸しつつある。記録や資料の収集保存を通して、平和の尊さを子孫



その他の質問事項

- ・議会における答弁
- ・経済格差と進路選択
- ・肝臓病対策